

外国語を用いて自分の考えや気持ちを互いに伝え合うことができる児童の育成

～コミュニケーションを行う目的や場面・状況等に応じた言語活動の設定と工夫を通して～

前橋市立元総社北小学校 奥村 敦

I 主題設定の理由

小学校学習指導要領において、外国語科の目標は「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成すること」とあり、そのためにコミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、再構築することが重要であると表記されている。さらに、第2節「英語」においても、思考力、判断力、表現力を身に付けるための学習過程として、設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解することの重要性が述べられている。また、市の努力点の1つに、「児童の理解していることやできることをどのように使わせたいかを明確にし、題材や活動を設定することで、主体的に自分の考えや気持ちなどを伝え合えるようにする」とある。

本校児童は外国語授業にまじめに取り組むが、自ら思考・判断して自分の考えや気持ちを主体的に表現している児童は少ない。例えば、全員で発音練習はするが1人で話すことが苦手な児童、決められた会話の再現のみをする児童、ゲームだけに意欲的な児童など、考えや気持ちを表現しているとは言えない。また、教師側も発音練習やセンテンスの確認やゲーム活動が中心で、児童の思考や判断を十分に働かせられていない活動をさせているという課題をもつ。こうした児童および教師の課題を克服するためには、母国語ではない英語を用いながらも、できるだけ自ら思考・判断し、自分の考えや気持ちを互いに伝え合えるような授業改善・授業づくりが必要である。

そこで、本研究では、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた言語活動を設定・工夫することで、思考・判断をしながら自分の考えや気持ちを互いに伝え合うことができる児童を育成することができると考え、本主題を設定した。

II 研究のねらい

外国語を用いて自分の考えや気持ちを互いに伝え合うことができる児童を育成するために、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた言語活動を設定したり工夫したりしたことの有効性を実践を通して明らかにする。

III 研究の見通し

- 1 児童が自ら考えながら、自分のことを話す言語活動を目的や場面、状況等に応じて設定・工夫することにより、児童自身が思考したり判断したりし、自分の考えや気持ちを英語で表現できるようになるであろう。
- 2 児童が自身の誕生日や好み、趣味、日課などに関係する語彙や表現を「My Profile カード」に記し蓄え活用させることで、そこから思考を広げたり、どのような語彙や表現を使うか判断したりし、自分の考えや気持ちを英語で表現する支えとなるであろう。

IV 実践内容

本研究では、小学校第5学年（児童数22名）の外国語科において授業実践を行った。題材名は、「What time do you get up? 一日の生活」である。

1 見通し1【コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた言語活動の設定】

(1) 実践の概要

本題材での学習事項である日課や頻度を表す表現（always, sometimes, never）を活用し「マイドリームのために、やっていることを紹介し合おう」という目的の学習活動を設定した。自分の夢やその実現に向けて行っていることを振り返り、紹介し合う場面を設定することで、思考を伴うコミュニケーションを目指した。そのための具体的な手立てとして、中心的活動である友達とのやり取りは相手を替えながら3回行った。1回目は特に会話の表現を示さず、どう話せば伝えられるのかもどかしさを感じさせながら会話を行い、2回目は教師がデモンストレーションを行った後、それを参考に会話に取り組んだ。なお、教師のデモンストレーションの際にも、すぐに会話の流れを示さず、表現について児童に問いかけや振り返りをしながら会話の流れを考えた。3回目は最初に考えた日課とは違う新たな日課を考えることで、変化を加えながら会話ができるようになった。

(2) 結果と考察

自分の日課の何が夢につながるのか、そして、その日課をどう英語で表現するのか思考する様子が見られた。また、「理科(science)はどう言うのかな？」など既習事項を振り返る発言や質問もあり、全員が何らかの日課を頻度と組み合わせてワークシートに書くことができていた（表1）。

表1 児童の記述例

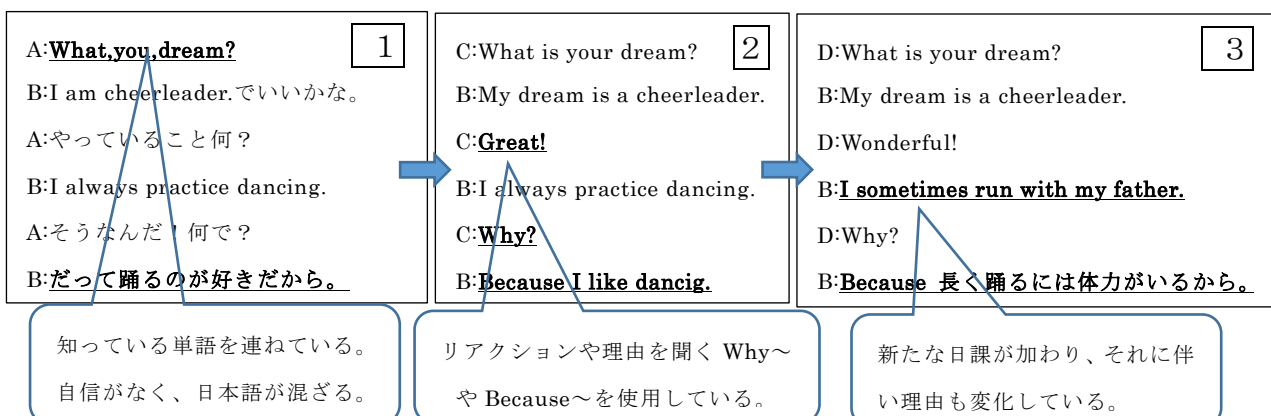
My Dream	やっていること	理由
Doctor	I sometimes study English.	患者さんが外国人かもしれないから
Teacher	I always read many books.	先生は、物知りだから

また、児童は最初、会話の表現を示さずにやり取りをするので、困り感をもっていたが、それでも既習事項をもとに思考し、伝えようとしていた。そのもどかしさの経験が全体での共有化に生かされ、2回目のやり取りで話したいことを伝えられた喜びが自信となり、3回目ですらに思考を重ね、新たな日課を加えて、やり取りを行っていた（図1）。言語活動の目的や場面、状況等の設定や工夫が児童の思考を促し、考えや気持ちを伝え合う会話に近づいたと考える（表2）。



図1 児童のやり取りの様子

表2 実際の会話



2 見通し2【語彙や表現を積み重ねたワークシートの活用】

(1) 実践の概要

見通し1を支える手立てとして、学習内容と関連させながら自身に関係する単語や表現、例えば、誕生日や好きな食べ物やスポーツや動物、趣味や得意な教科などを記しワークシート「My Profile カード」に蓄積しておいた。「My Profile カード」は、授業の際に手元におき、いつでも参考にできるようにした。また、本時では、特に自分の日課がテーマになる

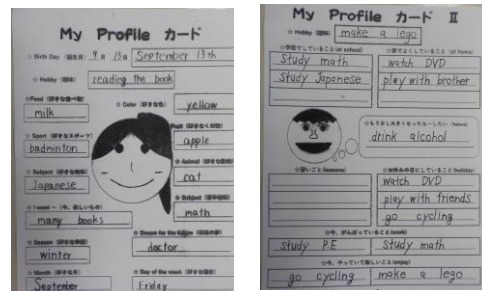


図2 My Profile カード I・II

ので、「My Profile カードII」に、学校または家でよくしていること、休日によくしていることなどについて少しずつ英語で記し、準備をさせてきた(図2)。

(2) 結果と考察

少しずつ書き蓄えてきた「My Profile カード」を必要に応じ自由に確認できるようにすることで、児童は思考を広げたり、どの語彙や表現を使うか判断したりして、自分の考えや気持ちなどを話しやすくなっていった。また、授業中の言語活動に応じ、進んで「My



図3 児童の様子

Profile カード」を目にする児童や振り返りの中で「マイプロフィールカードを見て話したいことが見付かった。」と記す児童がいた。本時においても、「My Profile カードII」を見ながら、夢の実現に向かって日頃からしていることに改めて気付いたり、会話のヒントにしたりするなどして、考えや気持ちを伝え合う会話の支えになっていたと考える(図3)。

V 研究のまとめ

1 研究の成果

- 「マイドリームのために、やっていることを紹介し合おう」という学習活動を設定したことで、将来の夢と日頃していることをつなげて考え、自分のことをどのように伝えるか悩み、思考する様子が見られた。また、自分たちで模索しながら会話をしたり、全体で思考しながら共有化したり、新しく日課を付け加えたりしながら会話をするなど、言語活動の目的や場面、状況等の設定や工夫を行うことで、思考・判断を伴いながら自分の考えや気持ちを話す本来のコミュニケーションに近づけることができた。
- 自分自身に関する語彙や表現を集めた「My Profile カード」を少しずつ作成し、授業の際にいつでも見られるようにしたことで、表現の幅が広がり、話題や英語表現を考える助けとなって、自分の考えや気持ちを話す会話がしやすくなった。また、語彙や表現を既習事項として蓄えて記すことで学習内容を振り返りやすくなり、知識の定着にもつながった。

2 今後の課題

- 自分のことを伝えるとともに相手のことに興味をもち、共通の話題でコミュニケーションをしながら関係を深めていくような会話をより児童主体で取り組めるよう検討したい。
- 「My Profile カード」については、毎回追記できるような形式にしたり、次年度も引き続き活用できるようにしたりするなど今後もその使用方法を検討していく必要がある。

VI 授業案

第5学年 単元名「What time do you get up? 一日の生活」(本時は8/8)

本時のねらい 自分の夢とその実現のためにやっている日課を頻度と合わせて考え、友達に尋ねたり答えたりすることができる。

主な学習活動	指導の工夫	子供の姿・反応例
<p>1 ウォームアップを行い、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 始まりのあいさつを行う。 ・ ティーチーズトークを聞き、学習内容をつかむ。 ・ 本時のめあて (Today's Goal) をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>マイドリームのために、やっていることを紹介し合おう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語学習の雰囲気を作り、心構えをもたせるために、英語による挨拶を行う。 ・ 本時のねらいにつなげるため、本時と関わりのある教師の話 (子供の頃の夢やしていたこと、続けていたことなど) を英語で話す。 ・ ティーチーズトークを生かし、児童の意欲を高めるようにしながら、本時のめあてを引き出し、板書に明記する。 	<p>T:Hello,everyone. S:Hello,Okumura sensei. T:How are you? S:I'm ~. T:Why?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の夢についての話を興味をもって聞いている。 ・ 本時の学習内容やめあてについて大体理解している。
<p>2 夢・日課について友達と紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢とその実現のためにやっていることをワークシートに書く。 ・ 友達と夢・やっていることを聞き合う。 <p>①隣の児童との活動</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> <p>どう聞けばいいかな</p> </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な考えや思いが出てくるように「今の自分の夢」や「いつもやっていること」「たまにやること」「やらないこと」など自由に考えてよいことを伝える。 ・ 考えるヒントにできるように、ティーチーズトークを思い起こさせ、教師の日課だったことを話す。 ・ 夢や日課を考える際、より自分の考えや気持ちを表せるようにするため、単語や表現は「My profile カード I」や「My profile カード II」を参考にするように伝える。 ・ 児童に思考を促すために、最初のペア学習では夢や日課の尋ね方・答え方については詳しく触れずに会話させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢とその実現に向けてやっていることを考え、ワークシートに書く。 ・ 「My profile カード I」や「My profile カード II」を見ながら日課を考えている。 ・ 最初のペア活動では、どう話せばよいか悩んだり日本語が混ざってしまったりする。 <p>S1:What,you,dream? S2:I am cheerleader かな S1:やっていること、何? S2:I always practice dancing. S1:そうなんだ。何で? S2:だって踊るのが好きだから。 S1:そっか。</p>

②全体で思考・共有



③別児童との活動（新たに日課を付け加えて）



- ・夢と日課を発表し、「ドリームボード」を作る。



完成したドリームボード

3 本時の振り返りとあいさつを行う。

- ・ワークシートで振り返り（Looking Back）を行う。
- ・終わりのあいさつを行う。

- ・ペア活動後、デモンストレーション（授業者と教師1名）を行いながら、質問の仕方や答え方を全体で考えさせる。その際、既習表現や頻度を表す表現についても問いかけることで、確認をしながら全体で共有化していく。
- ・夢や日課を尋ねたり、答えたりする言い方に慣れるため、また多様な考えに触れるため、相手を替えて聞き合う活動を行う。
- ・相手を替えて会話するときは、別の日課を付け加えて会話してもよいことを伝え、更に思考を促すように働きかける。

【外国語への慣れ親しみ】

自分の夢や日課について、どのように尋ねたり答えたりすればよいか考えながら、やり取りを行っている。

- ・教師が質問し、夢や日課を発表させ、「ドリームボード」に名前と夢を書いたカードを貼っていく。
- ・学習に参加している満足感をもてるように、できるだけ多くの児童の夢や日課を聞き、ドリームボードに貼る。

- ・気づきや感想を全体に広げるために、よい振り返りができている児童は、発表させたり紹介したりする。
- ・学習の充実や次への意欲につなげるため、児童の具体的な姿を挙げて、よさを認める声かけを行う。

- ・教師のヒントや既習事項の振り返りで、会話の流れを共有化していく。

T:What の後は is だね。

S:理由を聞くときは Why だ！

T:理由を答えるときは、まず何て言えばいい？

S:Because !

T:リアクションはどんなのがあるかな？

S:Nice! Good! I see!とか。

T:Great もいいね。

- ・共有化したことを元に、相手を代えてペア活動をする。

S1:Hello.

S2: Hello.

S1:What is your dream?

S2:My dream is a Cheerleader.

S1:Great!

S2:I always practice dancing.

S2:Why?

S1:Because I like dancing.

S2:I see. Thank you.

* 交替してやり取りを続ける。

- ・別の日課を付け加えて、会話をする児童もいる。

- ・本時を振り返り、ワークシートに、気づきやできるようになったことを書いて発表する。

T:That's all for today.

S:Thank you.

T:See you.

S:See you.

